

22151 保健所実習 Practice in Health Center		4 年次 集中 1 単位	
担当者	大和田 浩子／小西 優子	履修可能学科	F 必
		関 連 資 格	管理・食衛(F)
サブタイトル	地域や職域において、適切な公衆栄養プログラムを提供するための実践力を養う。		
授業内容 ・ ねらい	1. 茨城県保健所および市町村保健センターにおいて体験学習をすることにより、栄養行政や栄養改善業務等の概要を把握する。 2. 地域における公衆栄養活動（住民の健康・栄養問題の発見、計画の立案、活動の進め方、評価）の意義と実践について学ぶ。		
授業計画	1. 学内における事前オリエンテーション 1 2. 学内における事前オリエンテーション 2 3. 実習施設におけるオリエンテーション 4. 実習の実施 1 ①実習施設：茨城県保健所、茨城県内の市町村保健センターのうち1施設で実習する ②実習時期：7月下旬～9月中旬の予定（受入施設の都合により異なる） ③実習期間：5日間 5. 実習の実施 2 6. 実習の実施 3 7. 学内における事後オリエンテーション 8. 実習のまとめ 9. 報告会の準備 1 10. 報告会の準備 2 11. 報告会の準備 2 12. 報告会の実施 1 13. 報告会の実施 2 14. 報告会の実施 3 15. 総まとめ		
教科書 参考書	参)『食事摂取基準』（2010年版）（第一出版） 参)『食事摂取基準（2010年版）の活用』（第一出版） 参)健康・栄養情報研究会編『国民栄養の現状 平成19年度厚生労働省国民健康・栄養調査結果』（第一出版）		
評価方法	学内および実習施設におけるオリエンテーション、実習期間の実習態度、臨地実習の記録、レポート等により総合的に評価する。		
事前準備学習 履修条件等	公衆栄養学概論および健康関係法規で講義した行政栄養士の役割、公衆栄養活動、保健所・保健センターの業務等について復習しておくこと。尚、実習施設への通勤にかかる交通費は自己負担となります。		